



単方向イーサネットの設定

この章では、Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチで双方向イーサネットを設定する方法を説明します。

- [単方向イーサネットの\(UDE\)概要 \(1 ページ\)](#)
- [単方向イーサネットの注意事項と制約事項 \(1 ページ\)](#)
- [単方向イーサネットの設定 \(2 ページ\)](#)

単方向イーサネットの(UDE)概要

単方向イーサネットでは、一方向トラフィックの送信または受信に、2本の光ファイバではなく、光ファイバを1本だけ使用します。

単方向リンクでは、ビデオストリーミングなどのアプリケーションのトラフィックを送信または受信します。送信されるほとんどのトラフィックは確認されません。双方向トランシーバを装備したポートを単方向で送受信するように設定することで、単方向リンクを作成できます。適切な単方向トランシーバが使用できない場合は、UDEを使用できます。たとえば、サポートされる送信専用トランシーバがない場合は、ソフトウェアベース UDE で送信専用リンクを設定する必要があります。

単方向イーサネットの注意事項と制約事項

- UDE 送信専用がサポートされます。
- UDE 受信専用は、Cisco NX-OS リリース 10.1(1) までサポートされていません。
-
- UDE は、すべてのポートで同時に有効にできます。
- ハードウェア レベルの UDE は、X97160YC-EX ラインカードを搭載した Cisco Nexus 9500 スイッチでのみサポートされます。
- UDE はネイティブ 10G-LR/10G-LRS トランシーバでのみサポートされ、QSA またはブレークアウト ケーブルでは使用できません。

-
- ポートで UDE を設定すると、ポートフラップが発生することがあります。
- UDE 設定の有無にかかわらず、物理インターフェイスをポートチャンネルに追加できます。ただし、ポートチャンネルに送信専用インターフェイスだけが追加されていることを確認する必要があります。送信専用設定を他のインターフェイスと混在させると、UDE が期待どおりに動作しないことがあります。
- すべてのメンバーが UDE 送信専用として設定されている場合、ポートチャンネルはパケットを受信できません。
- すべてのメンバーが UDE 送信専用として設定されている場合、ポートチャンネルはパケットを受信できません。これにより LCAP ベースのポートチャンネルが作動しないようにすることが可能です。
- 特別なコントロールプレーントラフィックプルーニングは、送信専用ポートでは設定されません。
- 単一方向ポートでは、次のようにリンクの反対側の終端にあるポートとのネゴシエーションが必要になる機能またはプロトコルがサポートされません。双方向通信を必要とするすべての機能を無効にする必要があります。

単一方向イーサネットの設定

単一方向イーサネットを設定するには、次の手順を実行します。

手順の概要

1. **configure terminal**
2. **interface ethernet {type slot /port}**
3. **unidirectional send-only**
4. **exit**
5. **show running-config interface {type slot /port}**
6. **copy running-config startup-config**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例 : <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	interface ethernet {type slot /port} 例 : <pre>switch(config)# interface ethernet 3/1</pre>	設定するインターフェイスを指定し、インターフェイス コンフィギュレーションモードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	unidirectional send-only 例： <pre>switch(config)# unidirectional send-only</pre>	単方向送信（送信のみ）モードを設定します。
ステップ 4	exit 例： <pre>switch(config)# exit</pre>	インターフェイス モードを終了します。
ステップ 5	show running-config interface {type slot /port} 例： <pre>switch(config)# show running-config interface ethernet 3/1</pre>	指定されたインターフェイスに関する設定情報を表示します。
ステップ 6	copy running-config startup-config 例： <pre>switch(config)# copy running-config startup-config</pre>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

